

令和2年度 岩手県立宮古商工高等学校経営計画

校長：菅原 一志

1 現状把握及び将来展望		生徒	保護者	地域住民	進路先
	(1) 学校に対するニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・授業が分かる ・検定合格・資格取得の支援 ・進路希望の実現 ・生徒会活動及び部活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の心身の健全な育成 ・進路希望の実現 ・安全安心な教育環境の整備 ・学校情報の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献活動や交流活動 ・地域創成に寄与できる人材の育成 ・学校情報の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労観・職業観の育成 ・社会人基礎力や基礎学力の充実 ・学力の定着
	(2) パートナーとの関係	<ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲の向上 ・基礎基本の定着 ・部活動の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA活動の活性化 ・学校目標や課題の共有化と連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献活動の拡充 ・開かれた学校づくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業との連携強化 ・大学等進学者の学力保障
	(3) 学校に影響を与える変化	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎制による総合的な専門高校としての学校運営 ・少子化等による生徒数の減少に伴う学校再編の行方 ・震災から10年の節目を迎える復興の現状と地域社会、地域経済の変化 			
2 校訓・教育目標		<p>校訓 「尽心」「礼節」「中庸」</p> <p>教育目標</p> <p>(1) 意欲的に問題に取り組み、自分で考え抜く態度を養う</p> <p>(2) 基本的生活習慣と道徳心を身につけ、行動を自律できる能力を養う</p> <p>(3) 勤労意欲と実践力を育て、調和の取れた人間として自己を実現させる能力を養う</p>			
3 目指す学校像	(1) 今年度の重点目標	重点目標		達成指標（各種アンケート・調査）	
		ア 指導と評価の一体化を推進し、「わかる」授業のための指導の工夫と改善	<ul style="list-style-type: none"> ・互見授業参加率：100% ・「授業内容がよくわかる」と肯定的に答える生徒の割合：昨年度+2%以上 		
		イ 生徒が主体性を持ち安心して生き活きと活動できる学校を目指す	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校は体罰や暴言のないような風土作りをしている」肯定的回答 80%以上 		
		ウ 学校いじめ対策組織の取組を中核としたいじめの防止	<ul style="list-style-type: none"> ・「いじめ防止基本方針に基づく適切な対応」肯定的回答 80%以上 		
		エ キャリア教育を充実させ、進路意識の早期育成と進路実現を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・希望する進路目標を達した生徒の割合：80%以上 ・「一人ひとりの能力・適性・興味・関心などに応じた進路指導」肯定的な意見 80%以上 		
		オ 教職員の協働体制構築とコンプライアンスの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「教職員の協働と融和で明るい職場の構築」教職員割合：65% ・「綱紀保持の推進」教職員割合：90% 		
	(2) 取組方針	<p>ア 指導と評価の一体化の推進と「わかる」授業のため工夫と改善</p> <p>(ア) 生徒の学習意欲を高めることを重視する参加型授業（言語活動）を展開し「考える・わかる・力がつく」授業の工夫と改善を行う</p> <p>(イ) 授業改善につなげるための観点別評価方法の工夫と改善を行う</p> <p>イ 生徒が主体性を持ち安心して生き活きと活動できる学校を目指す</p> <p>(ア) 授業や部活動における体罰や暴言は絶対に許されないことを周知し常に意識させ徹底を図る</p> <p>(イ) 生徒、保護者等からの訴えや相談があった場合はすぐに管理職に報告し、管理職が中心となって丁寧な対応を行う</p> <p>ウ 早期発見と解消に向けた適切な対処</p> <p>(ア) いじめ防止基本方針を学校Webページに掲載すると共に、PTA総会や生徒総会等で周知し、いじめ防止に対する共通理解を図る</p> <p>(イ) 日常的な観察、面談、アンケート等による早期発見と積極的な認知を行い、情報共有を図りながら適切な初期対応を行う</p> <p>エ キャリア教育を充実させ、進路意識の早期育成と進路実現を図る</p> <p>(ア) 進路目標の実現に向けて生徒の適性や能力など情報共有をおこない、各種の進路課外やインターンシップに目的意識を持って積極的に参加できるように生徒一人ひとりに合った適切な指導助言を行う</p> <p>(イ) 検定合格、資格取得への意欲を喚起し、主体的な学習習慣の定着を図る</p> <p>オ 教職員の協働体制構築とコンプライアンスの推進</p> <p>(ア) 両校舎の教職員の融和と協働により、多忙化の解消を図る</p> <p>(イ) 分掌業務の効率化を図り、校舎制による業務を円滑に推進する</p> <p>(ウ) 適時に指導助言を行い、教職員の綱紀の保持に努め不祥事の撲滅を図る</p>			